



楠隼Letter

～ 来たるべき日のために ～

鹿児島県立
楠隼中学校
楠隼高等学校
第36号
令和4年9月発行



鹿児島県立楠隼
中学校・高等学校

白熱!! 第8回体育祭

晴天に恵まれた9月10日(土)、楠隼校グラウンドにて、第8回体育祭を挙行了しました。昨年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、平日に生徒と職員のみで実施しましたが、今年度は、十分な感染対策を行った上で、3年ぶりとなる有観客での開催となりました。颯爽と入場、整列する生徒たちに、保護者の熱い視線が集まる中、体育祭の開会が宣言されました。楠隼寮の1階を紅組、2階を白組とした中高混成の紅白戦は、応援団によるエールの交換を皮切りに、競技開始となりました。精選に精選を重ねたプログラムは迫力満点!ときには笑いも織り交ぜながら、全ての競技に全力で取り組みました。



中学生は、各学年特色あるプログラムで会場を沸かせました。中学1年生は肝付の歴史にちなんだ「薬丸野太刀自顕流演武」、中学2年生は肝付町の伝統行事である流鏝馬を楠隼流にアレンジした「楠隼流鏝馬」、中学3年生は「楠隼中ソーラン」を披露しました。



高校生は、鍛え上げられた身体で迫力ある走りを見せてくれました。特に、全員参加のリレーの盛り上がりはとても見応えがあり、最後まで目が離せませんでした。

そして、最終学年である高校3年生は、独自のプログラムを披露しました。これまで楠隼高校で学んだ知力、体力に加え、会場を沸かせる仮装力(!?)を大いに発揮してくれました。今後は、このエネルギーを受験に生かしてくれるのではないかと頼もしく思いました。



見応えのある応援合戦を繰り広げた応援団は、中学1年生から高校3年生の各学年代表による編成で、8月後半から時間を見つけては練習してきた成果を見事に披露してくれました。多くの制約の中ではありますが、実りの多い体育祭となりました。